

Jonsen の 4 分割

<p>医学的適応（善行と無害原則） 年齢：86 歳 性別：男性 疾患名：肝臓がん(ステージⅣ PS:4) 予後予測:週単位～1 ヶ月程度 予後予測：数か月 病歴：嚥下機能の低下があり誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している。肺炎を契機に心不全が悪化し死期を早める可能性が高い。 嚥下機能評価から、経口摂取は難しい状況である。 治療目標：症状緩和</p>	<p>患者の意向（自律尊重の原則） 患者の判断能力：「食べる」ことで肺炎を再燃し、苦痛が増強することは理解している。 希望：死んでもいいから口から食べたい。 人工的栄養療法に関する希望はない。 昔から食べることは好きだった 治療の拒否はなく、肺炎治療における理解はある。</p>
<p>QOL（善行と無害、自律尊重の原則） 「食べる」ことで肺炎を再燃する可能性が高く、肺炎発症に伴い、苦痛の増強・QOLの低下を招く。 絶食とすることは、田中さんの尊厳が守られず「食べる」ことでの楽しみや生きる希望を奪い、QOLの低下を招く。</p>	<p>周囲の状況（忠誠義務と公正の原則） 介護に熱心な娘さまの思い：「食べさせないのは残酷だ。でも食べると肺炎を起こして命を縮めることも分かっている。 終末期における</p>